

授業科目名	生命倫理・動物福祉	科目コード	2501004		
開講クラス	動物看護師学科	コース	動物看護師コース	学 年	1 年
担当教員	坂元祥彦 実務経験教員（有・ <input type="checkbox"/> 無）				
開講時期	前期・後期・ <input type="checkbox"/> 通年・特別講義・その他		授業コマ数	31 時間	
	<input type="checkbox"/> 必須・選 択・選 択必須		単 位 数	1 単位	
使 用 テキスト1	書 名	愛玩動物看護師の教科書第1巻基礎動物学			
	著 者				
	出版社	緑書房			
使 用 テキスト2	書 名				
	著 者				
	出版社				
参考図書	新・実験動物を考える（三一書房） 家畜飼養学（養賢社） 家畜衛生学概論（養賢社） 動物園にできること（文春文庫） 動物看護の倫理綱領（日本動物看護職協会）				
授業形態	<input type="checkbox"/> 講義・演習・実習				
<p><授業の目的・目標></p> <p>獣医療に係る生命倫理や、日本動物看護職協会「動物看護者の倫理綱領」を礎とし、生命倫理の意義について理解を深めたうえで、動物福祉の基本概念を理解し、動物愛護との違いや、その歴史的変遷、動物福祉と社会とのかわり、又愛玩動物の福祉だけでなく、産業動物、実験動物、展示動物、野生動物の福祉についても理解を深める。これらの事について飼い主をはじめ関係者に説明できるようになること、また、愛玩動物看護師として動物福祉の視点で看護の実践に活用できることを目指す。</p>					
<p><授業の概要・授業方針></p> <p>テキストを中心に基本的知識をおさえ、補助教材、プリントを配布し、事例を織り交ぜながら、一つの事象としてとらえながら、学生自身がその事象を考察できるよう指導する。</p>					
<p><成績基準・評価基準></p> <p>前期と後期に優・良・可・不可の成績基準を設定する。評価の基準は筆記試験によるものとし、本科目の出席率が80%以上なければ本試験が受験できない。本試験における点数が80～100点を優、70～79点を良、60～69点を可とし、60点未満は追試とする。また、出席率が80%未満の場合も追試となり、80%を満たすまでの時間数の課題に取り組んだのちに追試験を受けることができる。追試においては60～100点を可とする。追試にて60点未満の場合は不可となる。</p>					

＜使用問題集・注意事項＞		
＜関連科目他＞ 人と動物の関係学		
授業科目名	生命倫理・動物福祉	
回	授 業 内 容	備 考
1	本講座での目的	
2	動物の福祉	プリント
3	生命倫理 生命倫理とは	プリント
4	生命倫理 生命倫理と獣医療、倫理綱領（日本動物看護職協会）	プリント 倫理綱領
5	動物福祉の概要 考え方、歴史的変遷	プリント
6	動物福祉の概要 考え方、歴史的変遷	プリント
7	動物福祉の概要 ファイブフリーダムの事例	プリント
8	動物福祉の概要 ファイブフリーダムの事例	プリント
9	動物福祉の概要 動物の愛護と動物の権利	プリント
10	動物福祉の概要 動物福祉の評価	プリント
11	動物福祉と社会 日本や海外の法と行政	プリント
12	愛玩動物の福祉 適正飼養と福祉上の問題	プリント
13	愛玩動物の福祉 家庭における適正飼養と災害対策	プリント
14	愛玩動物の福祉 ペット産業の問題	プリント
15	愛玩動物の福祉 飼い主のいない犬と猫の問題と対策	プリント
16	愛玩動物の福祉 動物虐待	プリント
17	まとめ	

18	まとめ	
19	産業動物 福祉上の問題	プリント
20	産業動物 国際基準	プリント
21	産業動物 福祉向上のための対策	プリント
22	実験動物の福祉 福祉上の問題	プリント
23	実験動物の福祉 日本での取り組み	プリント
24	実験動物の福祉 福祉向上のための対策（3R）と環境エンリッチメント	プリント
25	展示動物 役割と展示手法	プリント
26	展示動物の福祉 福祉向上のための対策 ハズバンドリートレーニングと環境エンリッチメント	プリント
27	展示動物 福祉向上のための対策 ハズバンドリートレーニングと環境エンリッチメント	プリント
28	野生動物の福祉 福祉上の問題（保護と駆除）IUCN レッドリストと鳥獣保護法	プリント
29	野生動物 福祉向上のための対策	プリント
30	まとめ	
31	まとめ	